

AspenTech と Fluent 技術上の新たな取り組み



AspenTech 社と Fluent 社は 2000 年 2 月に技術提携し、プラントの生産性、柔軟性および市場への導入期間を最適化する、統合された最新のワークフロー環境の構築に必要なツールをプロセス業界のエンジニアにご提供することとなりました。既存の知識と経験の活用によって、全ての設計および解析が整合性のある完全なデータに基づくようにすることが、今回の目的の 1 つです。この提携により 2 つの会社が専門の技術を持ちよった結果、プロセス装置の設計とプロセスの最適化に従事しているエンジニアにはクラス最高のツールをご提供し、メーカーには個々のプラント資産がプラント全体の性能と効率にどう影響するか理解する手助けをさせていただけるものと考えております。現在、AspenTech 社の Engineering Suite™ に基づくモデルが、統合プラント設計の基盤となっています。一方、Fluent 社の CFD ソフトウェアは、個々のユニット操作と個々の装置の性能を理

解し改良するのに利用されています。これらの技術を統合することで、CFD に忠実な装置モデルという利点をご提供できるはずで、つまり、全体的なプロセス性能によって、より優れたプラント設計を開発し、既存プラントを最適化できるようになるのです。また、CFD モデルおよびプラント全体のシミュレーションモデルの両方で使用可能な、整合性のある厳密な物性モデルも得られるでしょう。

AspenTech 社と Fluent 社のこの新たな取り組みにより、プロセス全体の可視化とシミュレーションに統合的な解決策をご提供するだけでなく、個々のプラント資産がプラント全体の性能と効率にどう影響するかを明確にできます。また、設計と解析も整合性のある完全なデータに基づくようになります。最近では、米国エネルギー省から膨大な資金援助を受け、こうした統合設計ツールを開発しています。

